Ver.4.0

ハンズフリーイヤホンマイク

GRND-HFEM100C02B

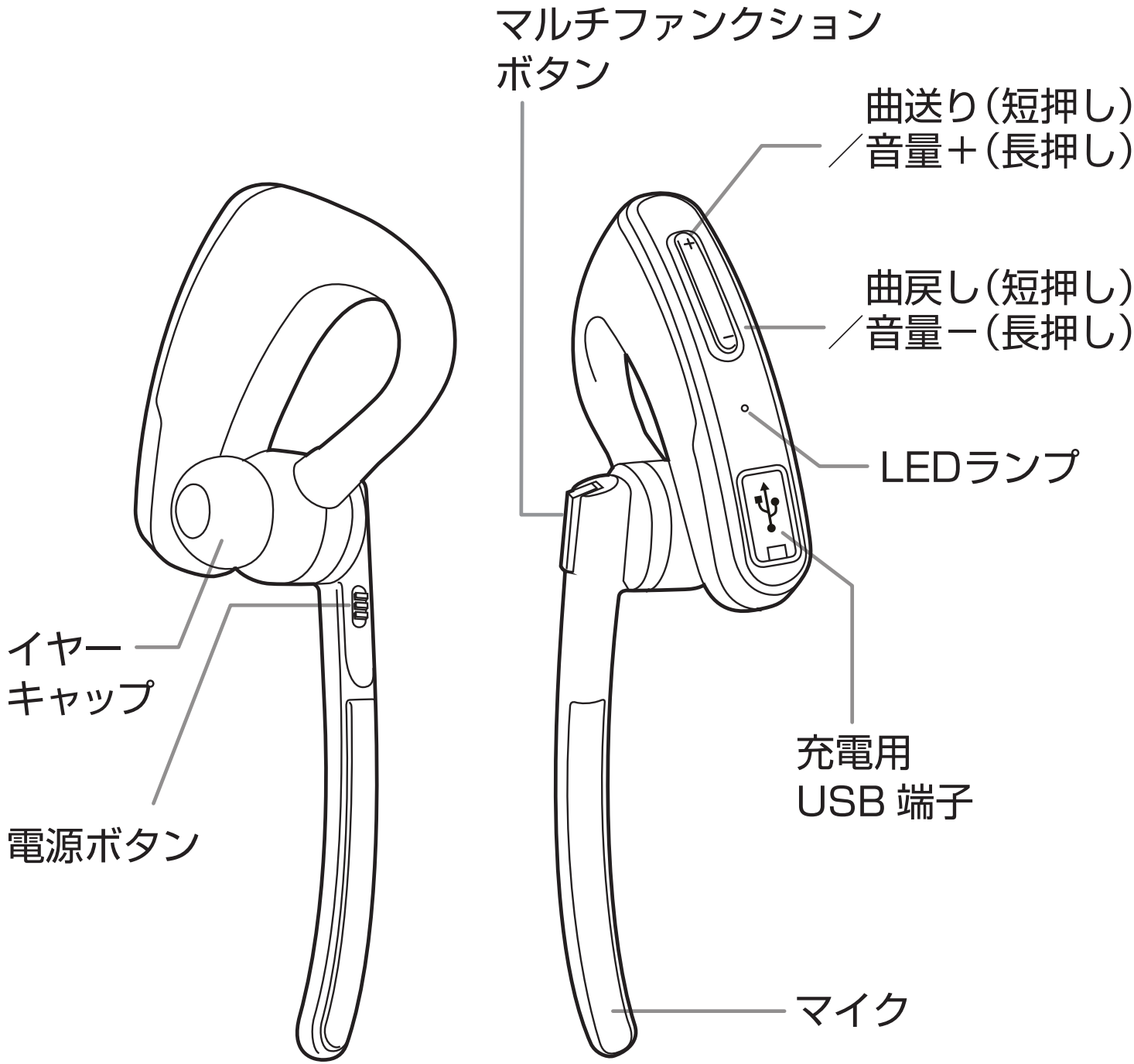
取 扱 説 明 書

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。ご使用になる前に取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

■パッケージ内容

以下の内容物が同梱されていることをご確認ください。
①本体 ×1　②充電用 USB ケーブル ×1
③イヤーキャップ（S ／ M ／ L サイズ）
※M サイズは本体に装着されています。
④取扱説明書（本紙）×1　⑤保証書：本紙内記載

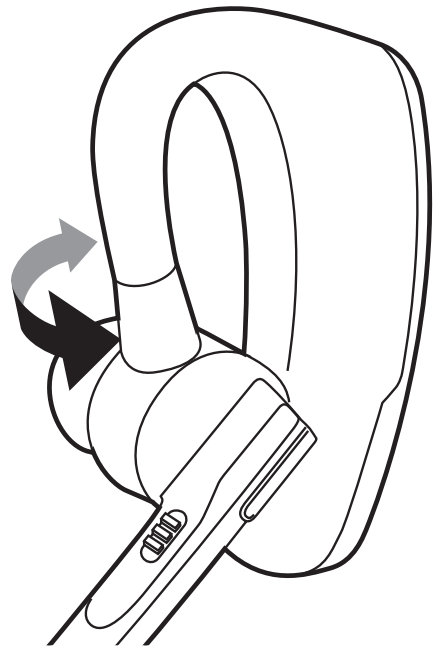
■本体各部名称


マルチファンクション
ボタン
曲送り（短押し）
／音量＋（長押し）
曲戻し（短押し）
／音量－（長押し）
LEDランプ
イヤー
キャップ
電源ボタン
充電用
USB 端子
マイク

■装着方法

図のように耳に掛けて装着します。

矢印部分を回転させて
左右どちらの耳でも
ご使用できます。



■主な仕様動作

	電源ボタン	LED ランプ	音声アナウンス
電源オン	電源オフの状態で３秒程度長押し	赤色と青色が交互に点滅→青色にゆっくり点滅	パワーオン
電源オフ	電源オンの状態で３秒程度長押し	赤色に点滅→消灯	パワーオフ
充電中		赤色に点灯	
充電完了		消灯	
バッテリー容量不足		赤色に点滅（効果音が鳴ります）	ローバッテリー
ペアリングモード		赤色と青色が交互に点滅	
ペアリング完了	電源オフの状態で 4～5 秒程度長押し	青色にゆっくり点滅	コネクテッド

■充電方法

ご使用になる前に本製品をパソコンもしくは市販の AC 充電器に接続して充電をしてください。

①付属の USB ケーブルで、パソコンの USB 端子または市販の AC 充電器と本体の充電用 microUSB 端子を接続して充電します。

②充電中は電源をオフにしてください。

③充電中は LED ランプが赤色に点灯し、約２時間で満充電になります。

■電源のオン／オフ

●電源オンの方法

①電源オフの状態で本体の電源ボタンを約３秒程度押し続けます。

②音声（パワーオン）が流れて､LED（青色）が点灯して電源が入ります。（すでにペアリング済みの機器が近くにある場合は、自動的に接続されます。）

●電源オフの方法

①本体の電源ボタンを約３秒程度押し続けます。

②音声（パワーオフ）が流れて、LED ランプ（赤色）が点滅して電源が切れます。

■Bluetooth でスマートフォンと接続

●ペアリング手順

本製品と Bluetooth 機器を接続する行為をペアリングといいます。

①本体の電源ボタンを約４～５秒程度押し続けます。
音声（パワーオン）が流れて、LED ランプが赤色と青色交互に点滅したら、電源ボタンから手を離します。

※本操作前に本体の電源が入っていた場合、一旦電源を切ってから、本操作を行ってください。

②Bluetooth 機器（接続する機器）にてペアリングのための操作を行います。
Bluetooth 機器側で本製品を検出した場合、“HFEM100C02B”の名称で表示されます。

例 1.）iPhone との接続

※機種や OS のバージョンによって設定方法は異なります。

①iPhone の画面にある「設定」を選択します。

②「設定」内の「Bluetooth」をタッチします。

③「Bluetooth」の「オフ」の部分をタッチまたはスライドさせて「オン」にします。

④検出された Bluetooth 機器がリストに表示されますので、その中から“HFEM100C02B”を選択します。

⑤ペアリングが完了すると音声（コネクテッド）が流れて LED ランプが青色の点滅に変わります。

例 2.）Android スマートフォンとの接続

※機種や OS のバージョンによって設定方法は異なります。

①スマートフォンの画面にある「設定」を選択します。

②「設定」内の「機器接続」を選択します。

③「機器接続」内の「新しい機器とペア設定する」を選択します。

④検出された Bluetooth 機器がリストに表示されますので、その中から“HFEM100C02B”を選択します。

⑤ペアリングが完了すると音声（コネクテッド）が流れて、LED ランプが青色の点滅に変わります。

■音楽再生の操作方法

本体側面のボタンを押して操作できます。

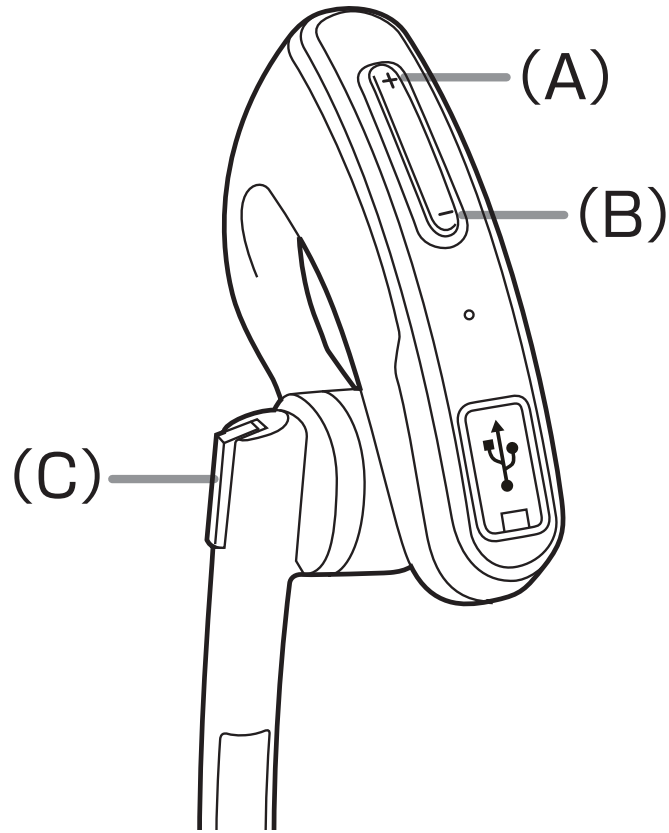
再生／一時停止：マルチファンクションボタン(C)を押します

曲送り　　：曲送り／音量＋ボタン(A)を短押しします

曲戻し　　：曲戻し／音量－ボタン(B)を短押しします

音量＋　　：曲送り／音量＋ボタン(A)を長押しします

音量－　　：曲戻し／音量－ボタン(B)を長押しします



■ハンズフリー通話の操作方法

本製品と通話をするスマートフォンを Bluetooth で接続します。

電話発信：スマートフォン側で電話をかけます。

電話着信：イヤホンから着信音が聞こえたら、本体のマルチファンクションボタンを押して通話ができます。通話終了後は再度本体のマルチファンクションボタンを押して通話を終了します。

リダイヤル：本体のマルチファンクションボタンを 2 回短押しすると、スマートフォンで直近の履歴の連絡先へ電話発信します。

ミュート：通話中に本体の電源ボタンを 2 回短押しするとこちらの音声を聞こえないようにすることができます。再度本体の電源ボタンを２回短押しすると元に戻って通話できます。

着信拒否：電話着信時に本体のマルチファンクションボタンを長押しします。

※通話中、音楽再生は中断します。通話が終わると音楽再生が再開されます。
※スマートフォンによってリダイヤルする前に音楽再生を停止する必要があります。

■マルチポイントの設定

本製品は 2 台の Bluetooth 機器（スマートフォン、タブレットなど）の待ち受けを行うことができます。

●設定方法

①1 台目の Bluetooth 機器とペアリングして機器の登録を行います。ペアリングが完了したら、Bluetooth 機器の Bluetooth をオフにします。

②2台目の Bluetooth 機器をペアリングします。

③2台目の Bluetooth 機器のペアリング完了後、１台目の Bluetooth をオンにして本製品“HFEM100C02B”を再度選択します。

以上で設定完了です。

１台目のBluetooth機器と２台目のBluetooth機器が共に接続され、待ち受け状態となります。同時に登録・使用できる Bluetooth 機器は２台までです。

※ご注意

Bluetooth 機器の使用方法については、当社ではサポートしておりません。

本製品に接続する Bluetooth 機器の取り扱いについては Bluetooth 機器の取扱説明書をご参照ください。

■音声アシスタント

マルチファンクションボタンを長押しすると、音声アシスタント（Siri など）が立ち上がります。再度長押しすると､元の画面へ戻ります。
※マルチポイント設定中は使用できません。

■故障かな？と思ったら

●本製品の電源が入らない
⇒本製品を充電してからお試しください。
●Bluetooth 機器とペアリング（登録）できない
⇒接続する Bluetooth 機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
⇒接続する Bluetooth 機器と本製品をなるべく近づけて登録してください。
⇒ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合があります。再度設定しなおしてください。
⇒近くに別の Bluetooth 機器がある時は、別の Bluetooth 機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。
⇒Bluetooth 機器の電源を切り、再度電源を入れ直してお試しください。
●発信時に本製品が使えない
⇒携帯電話から発信した後に、スピーカー／マイクを本体から Bluetooth イヤホンへ切替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。
●着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない
⇒一部の携帯電話では、着信時に本体のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。
⇒Bluetooth 機器側で着信を行ってください。

■故障かな？と思ったら

●通話できない
⇒接続する Bluetooth 機器と本製品の電源を入れてください。
⇒再度ペアリング（登録）をしてください。
⇒Bluetooth 機器と本製品の音量を大きくして調節してください。
●音が途切れる、または音質が劣る
⇒接続する Bluetooth 機器と本製品を近づけて使用してください。
⇒接続する Bluetooth 機器と本製品の間にある障害物を避けてご使用ください。
⇒他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。
干渉の元と思われる機器から離れて使用してください。
●音楽が再生できない
⇒接続する Bluetooth 機器と本製品の電源を入れてください。
⇒再度ペアリング（登録）をしてください。
⇒Bluetooth 機器と本製品の音量を大きくして調節してください。
Bluetooth 機器側で音楽再生ができるかご確認ください。
⇒ファイルや Web サイトによって Bluetooth での再生をサポートしていない場合があります。
⇒スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声は Bluetooth では視聴できない場合があります。
●何もしていないのに LED ランプが点滅し続ける
⇒接続している Bluetooth 機器のペアリングをオフにしてから、本製品の電源をオフにしてください。

■製品仕様

●Bluetooth：Ver.5.0
●対応プロファイル：HFP, AVRCP, A2DP, HSP
●対応コーデック：SBC、AAC
●受信距離：10m
●送信出力：Class２
●本体サイズ：100×57×30mm
●質量：約 20ｇ
●イヤホン本体バッテリー容量：90mAh
●充電電圧：DC５V　１A
●充電時間：約 2 時間
●連続通話時間：約 10 時間
●連続音楽再生時間：約８時間
●連続待機時間：約 150 時間
※使用時間は 50%音量の条件にて算出。接続する Bluetooth 機器との距離が長い場合等、消費電力が増加するために待機 / 通話 / 再生時間が短くなる場合があります。
●使用温度範囲／湿度：５～ 40℃／ 20 ～ 80%

■Bluetooth® について

本製品に関して、すべての Bluetooth® 機器の動作を保証するものではありません。本製品を接続する Bluetooth® 対応機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合していても、Bluetooth® 対応機器の特性と仕様によっては、接続できない、操作方法や表示、動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

■本製品の防水性能について

□イヤホン本体

本製品のイヤホン本体は、防水規格 IPX4 相当の仕様となっています。
いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。
※完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。

□各種ケーブル

本製品に付属する各種ケーブル類は防水仕様ではありません。
水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

Li-ion

この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。

詳細はここから

■安全上のご注意

●商品保証やお問い合わせは日本国内に限ります。海外使用での不具合や費用については保証致しかねます。購入店の捺印・購入日記載がされた本書内記載の保証書が必要になりますので大切に保管ください。

●本製品およびパソコン等、接続機の不具合からデータの破損・消失した場合は、当社ではデータ内容の保証を致しかねます。必ず内蔵メモリに保存されたデータを他の記録媒体に保存してください。

●お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、その他不具合を含め、本製品の仕様によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。

●当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。

●本製品は取出不可の内蔵リチウムバッテリーへの本体充電式です。電池交換はできませんので、予めご了承ください。本製品が不要になった場合はお近くの電気店にご相談の上、リサイクルもしくは廃棄をお願いします。

●誤った使用方法で生じる人的被害や火災による財産への損害を防止するため、「注意事項」を必ずお守りください。

⚠注意事項

●高温になる場所に放置しないでください。直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、破裂・火災・感電等の原因となるだけでなく、部品の劣化や破損の原因になります。

●修理･改造･分解を絶対にしないでください。火災･感電の原因になるだけでなく、お子様の部品誤飲の危険があります。

●釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつける等の外的圧力をかけたり、ぐらつく台の上や傾いた所などの不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本製品の落下や外的圧力で、けがや故障・破裂・火災・感電等の原因になります。

⚠注意事項

●異常が起きたら、充電用 USB ケーブルを本製品から取り外して使用を中止してください。煙が出たり異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電等の原因になります。
●本製品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃してください。発熱・発火・やけどの原因になります。
●充電中の異常（充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど）発生時は直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。
●本取扱説明書の記載をお守り頂けない場合による損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。

無線電波について

●本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに電波の発射を停止してください。
●他の Bluetooth 機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体（接触した状態）などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
●Bluetooth 機器接続において、無線 LAN その他の無線機器の周囲、電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。